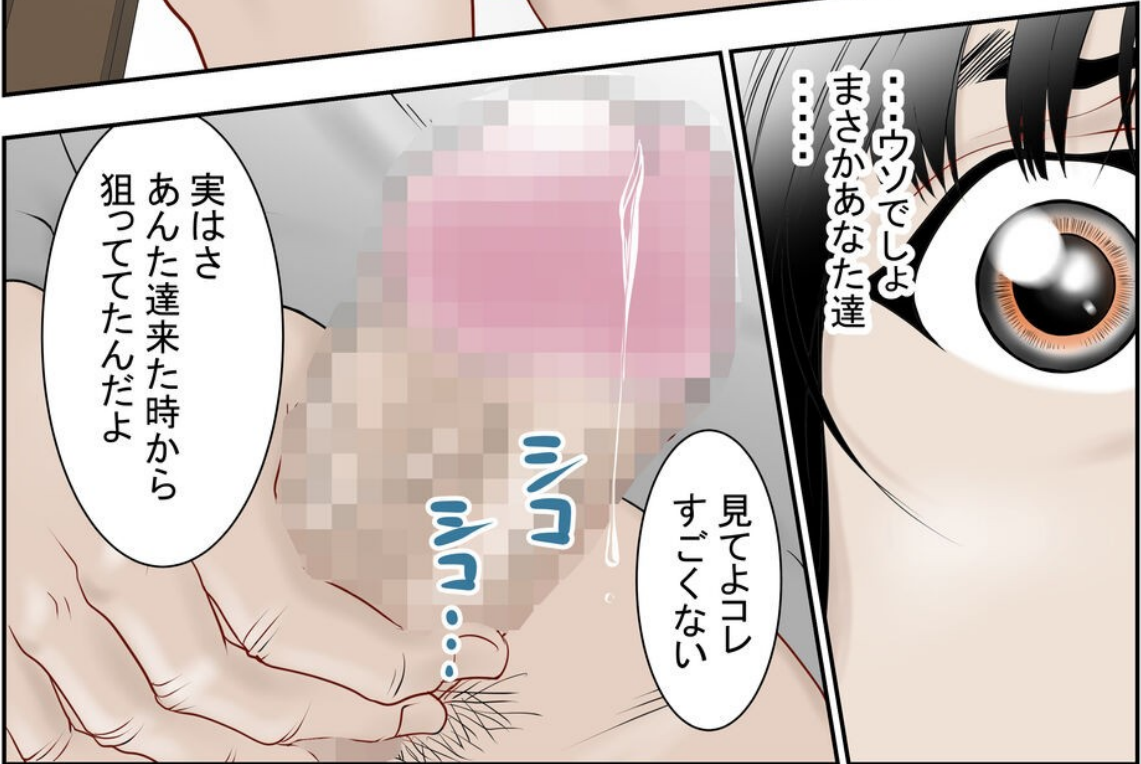




ハハハッ
僕の母親になりたきゃ
母さんのように
全てを受け入れてくれなきゃね

ぶ
り
ん
っ
っ

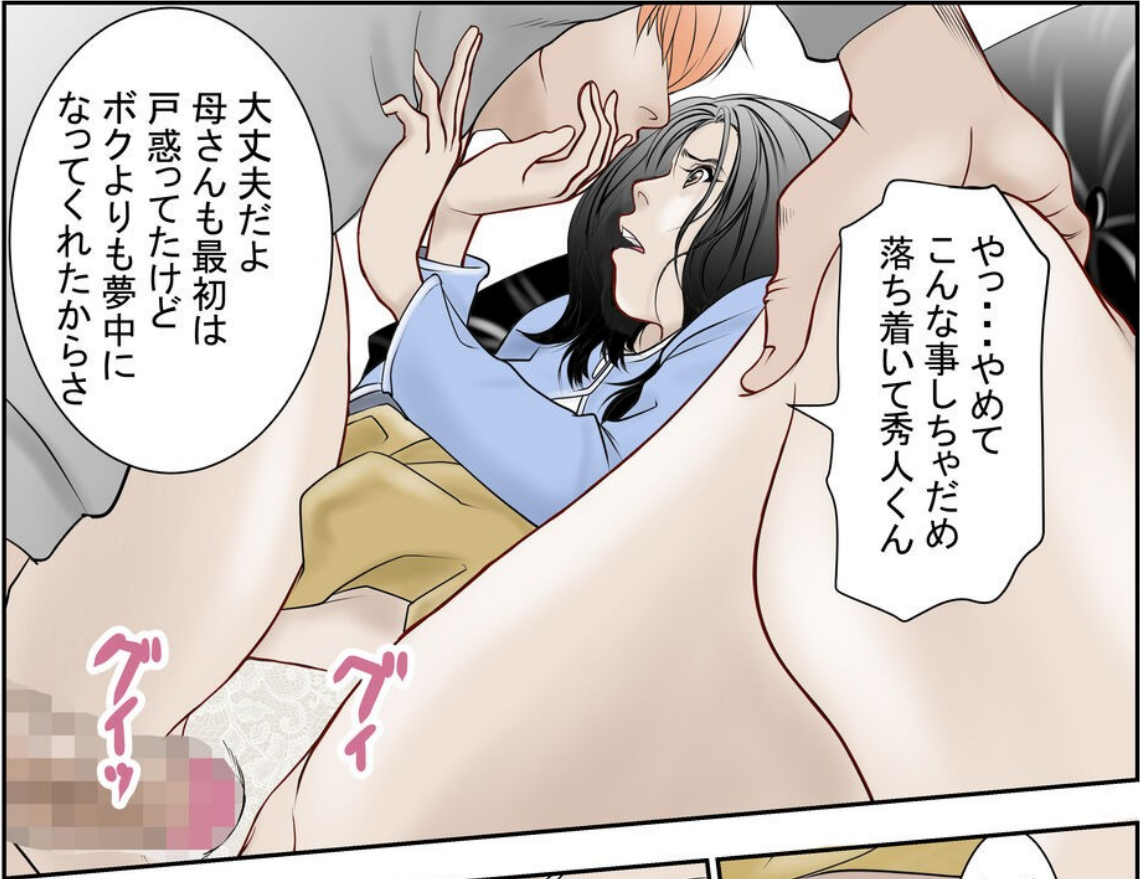


……ウソでしょ
まさかあなた達

見てよコレ
すごくない

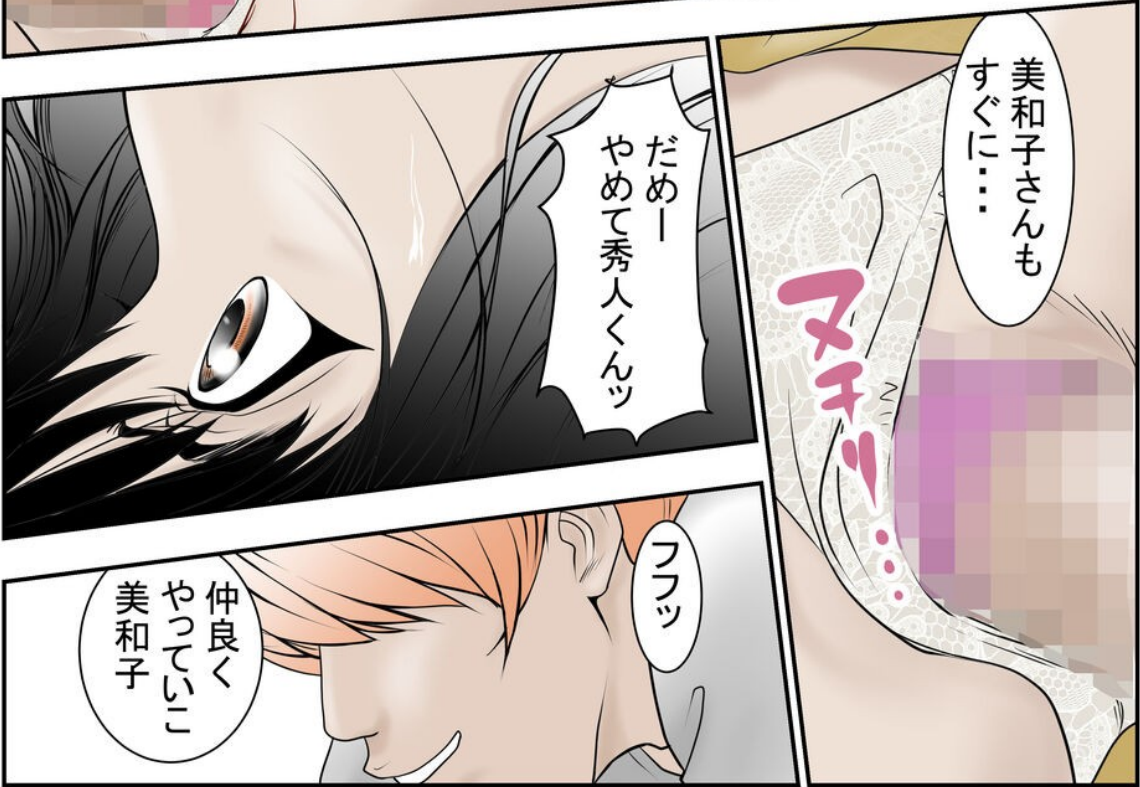
ミ
コ
……

実はさ
あんた達来た時から
狙ってたんだよ



大丈夫だよ
母さんも最初は
戸惑ってたけど
ボクよりも夢中に
なってくれたからさ

やっ…やめて
こんな事しちゃだめ
落ち着いて秀人くん

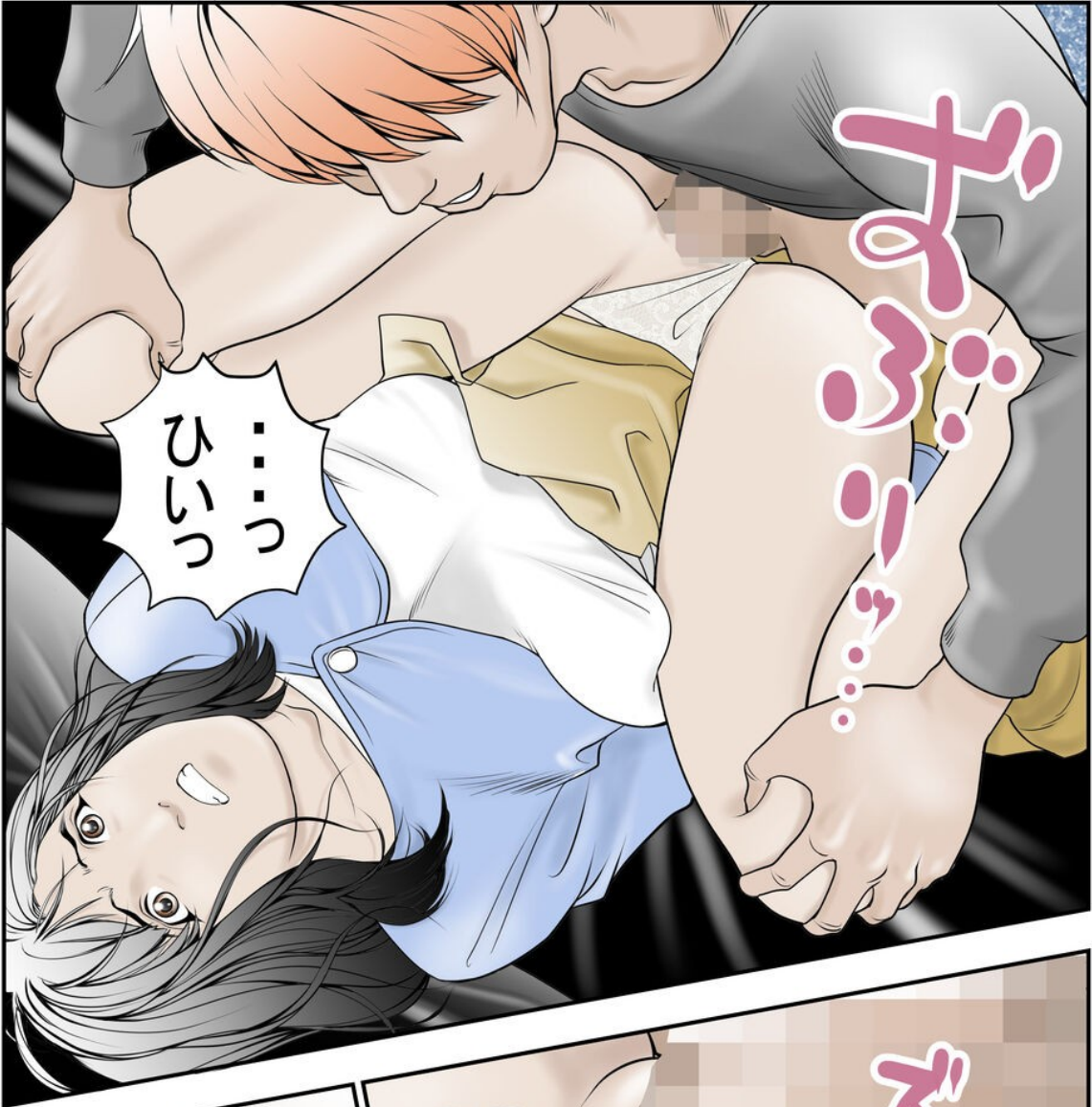


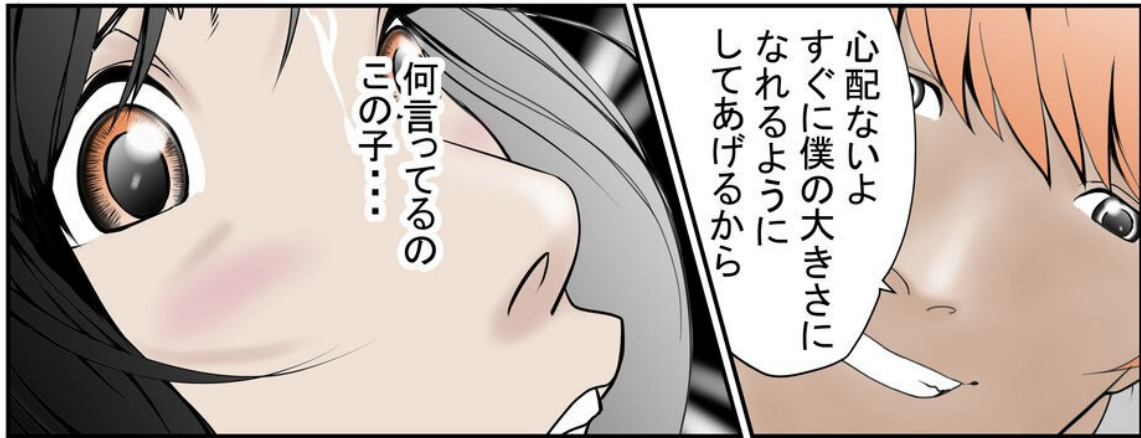
美和子さんも
すぐに…

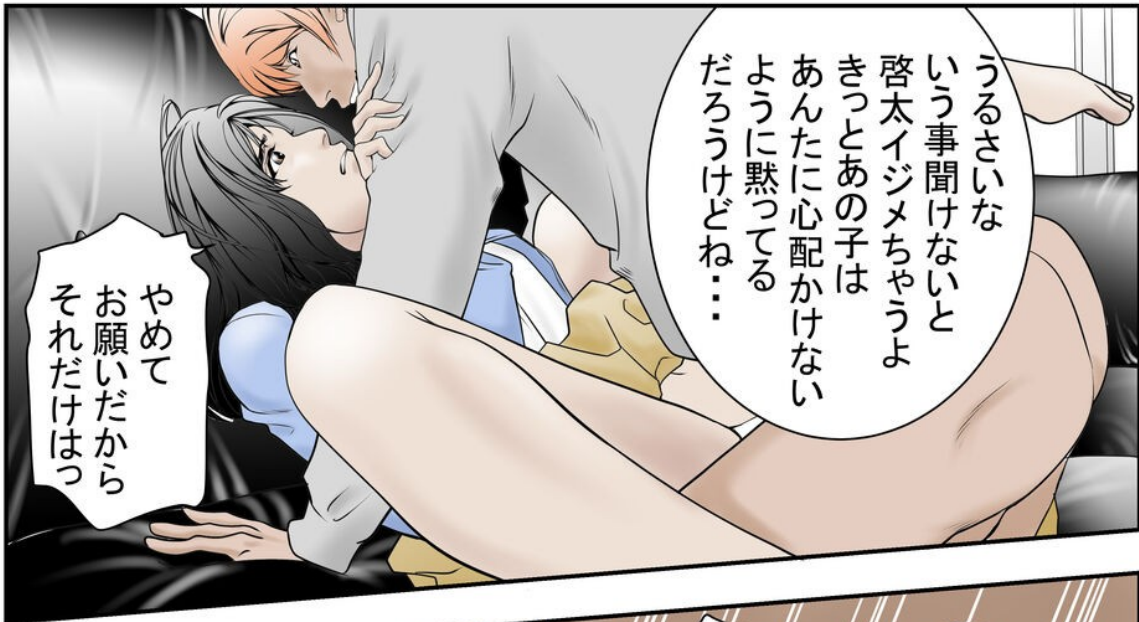
だめー
やめて秀人くんッ

フフッ

仲良く
やっつい
美和子







うるさいな
いう事聞けないと
啓太イジメちゃうよ
きつとあの子は
あんたに心配かけない
ように黙ってる
だろうけどね…

やめて
お願いだから
それだけはっ



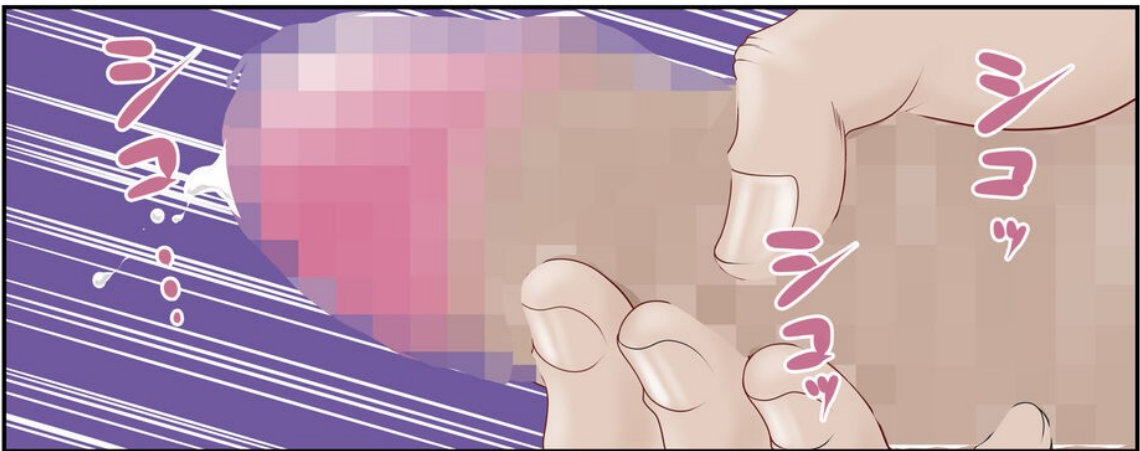
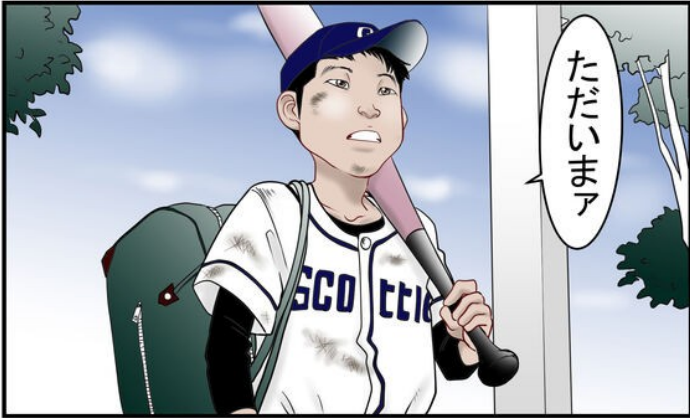
だったら
しっかり僕のザーマン
受け取らなきゃ

ああッ

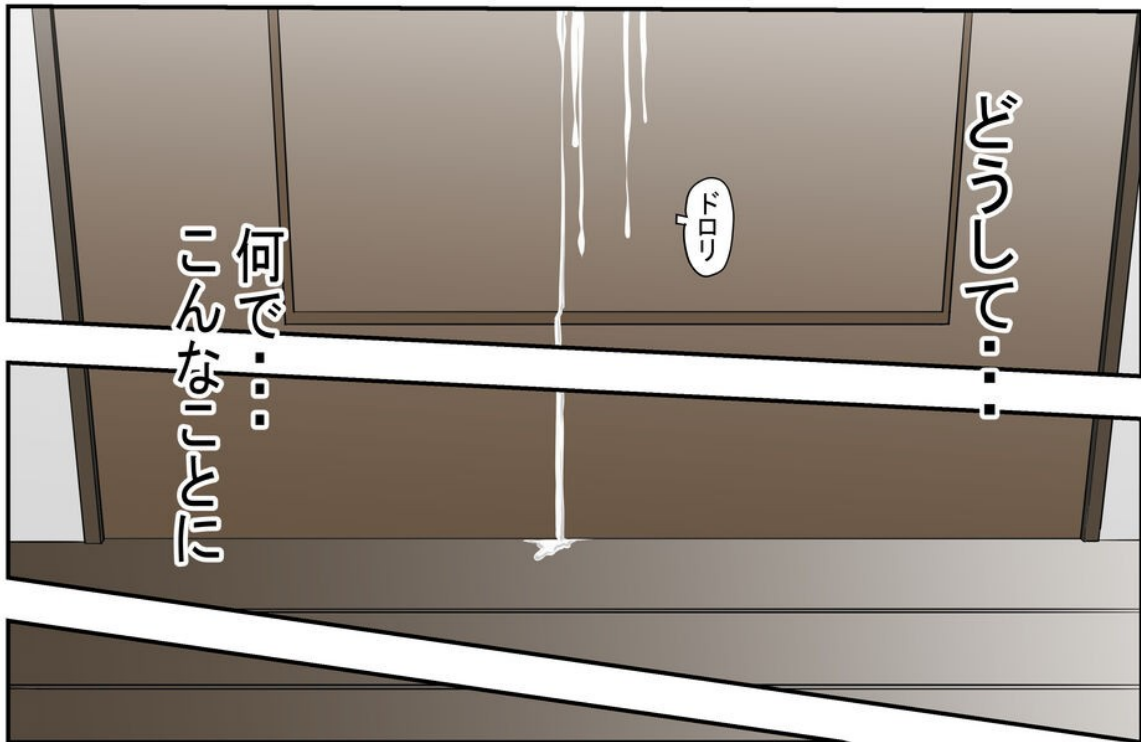
ほらっ
出すよっ

はあッ

ダメーッ









あつ……
久しぶりの野球で
疲れたみたいで
寝ちゃってます

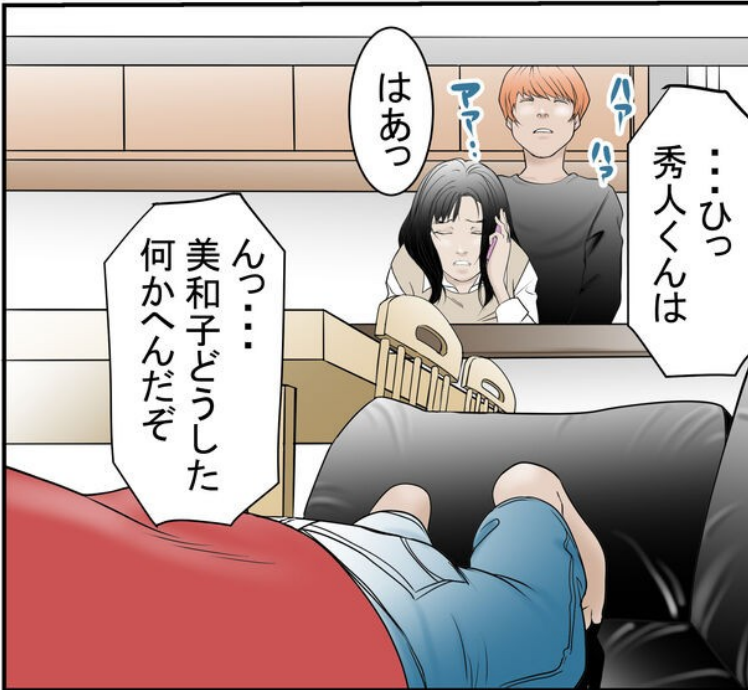
啓太は……

すまない
今日も仕事で遅く
なりそうなんだ



んっ
あつ

秀人は
どうしてる



はあつ

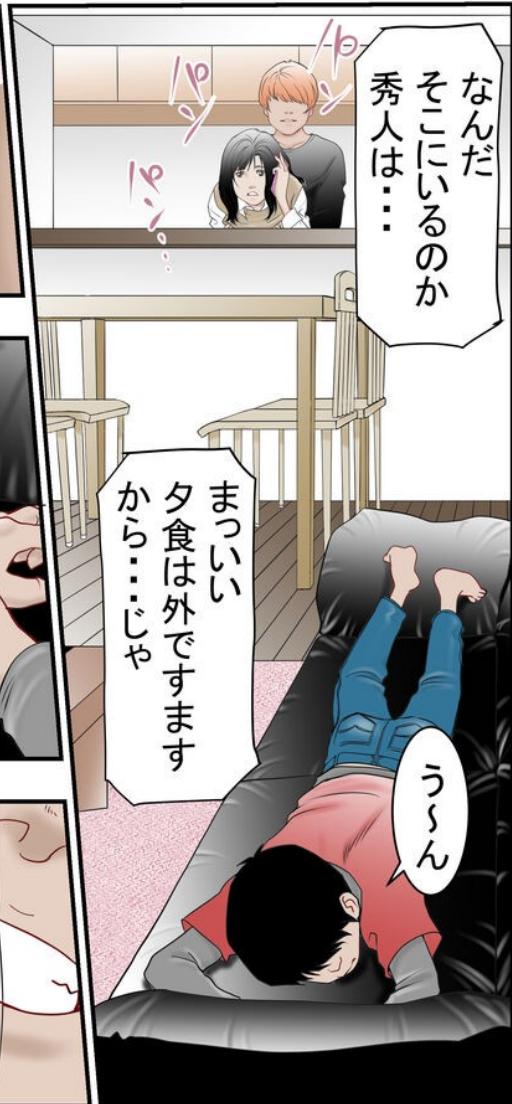
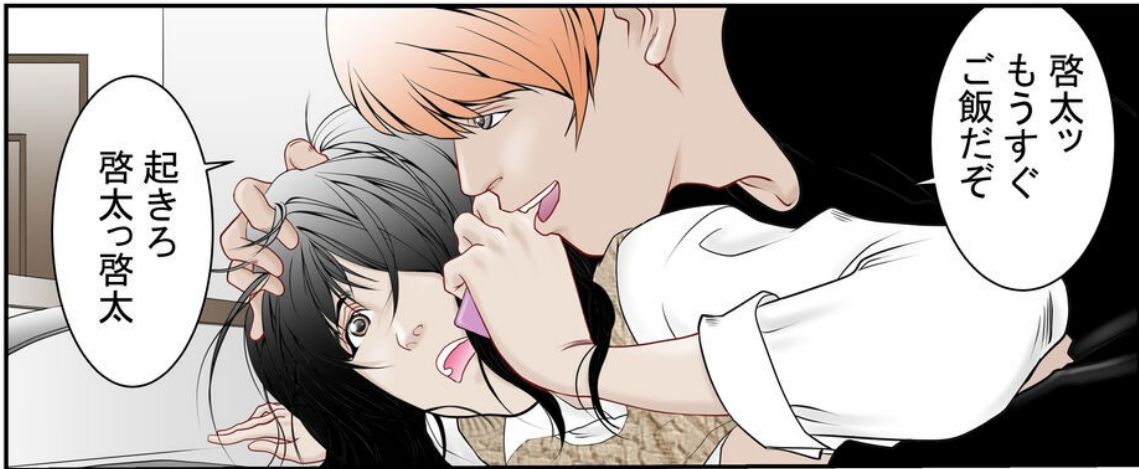
アア!
ハアハア

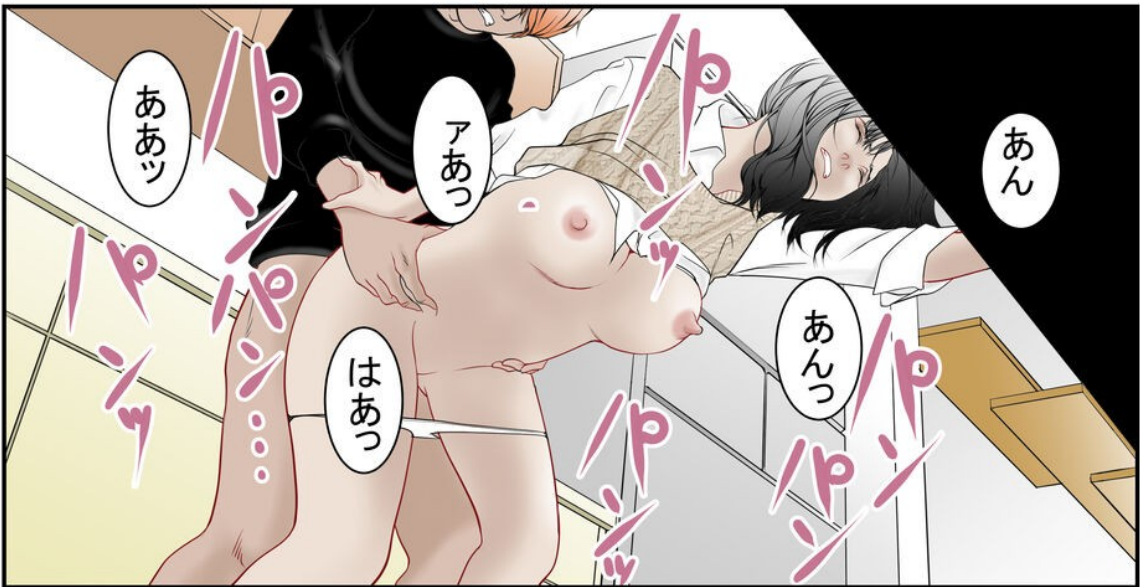
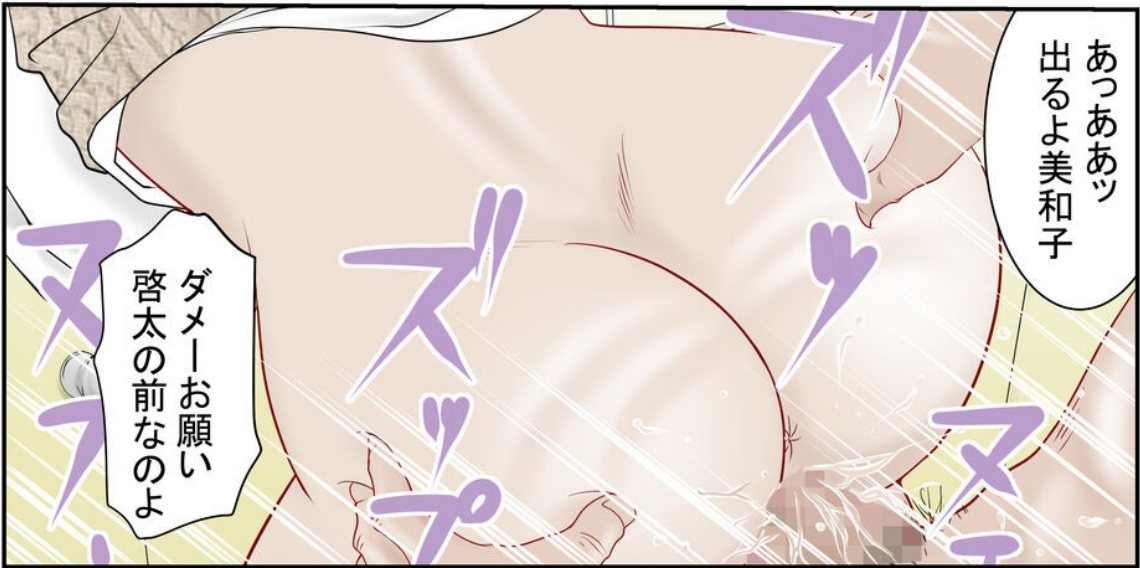
……ひっ
秀人くんは

んっ……
美和子どうした
何かへんだぞ











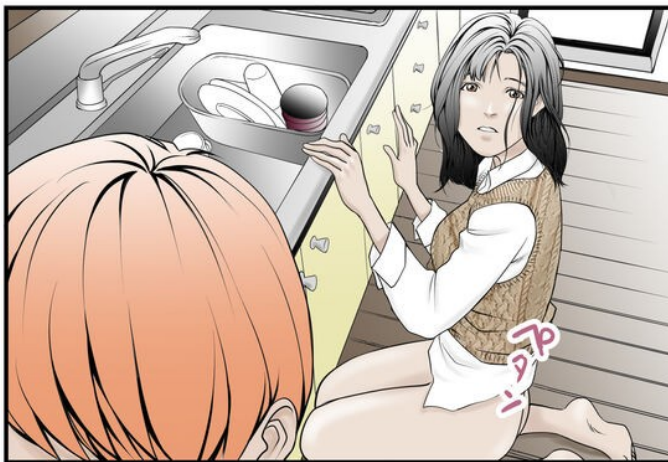
あつそうだ
お父さん
帰って来たら
やれよ

ゴク...
ゴク...



ちやんと
観てるからね

セックス...



フ
ニ

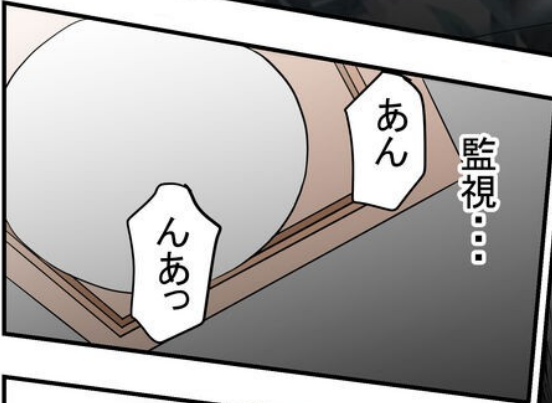


アッ



それって
この部屋を...

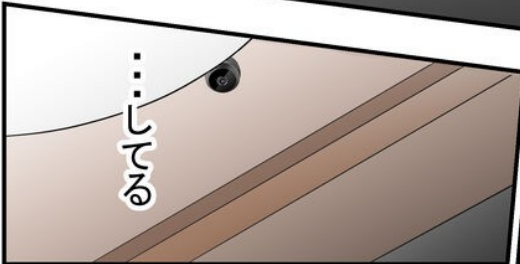
どういふ事...



あん

監視...

んあッ



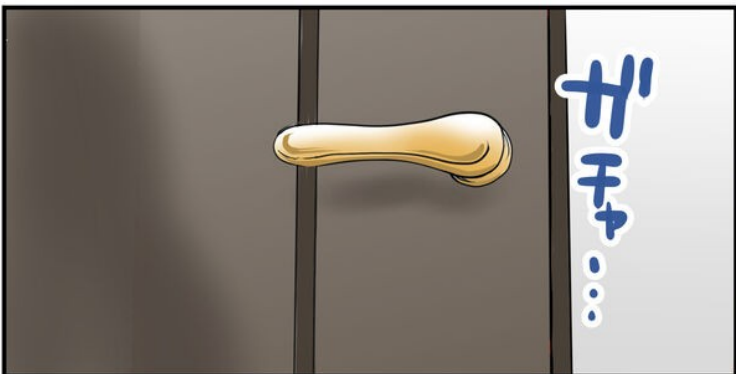
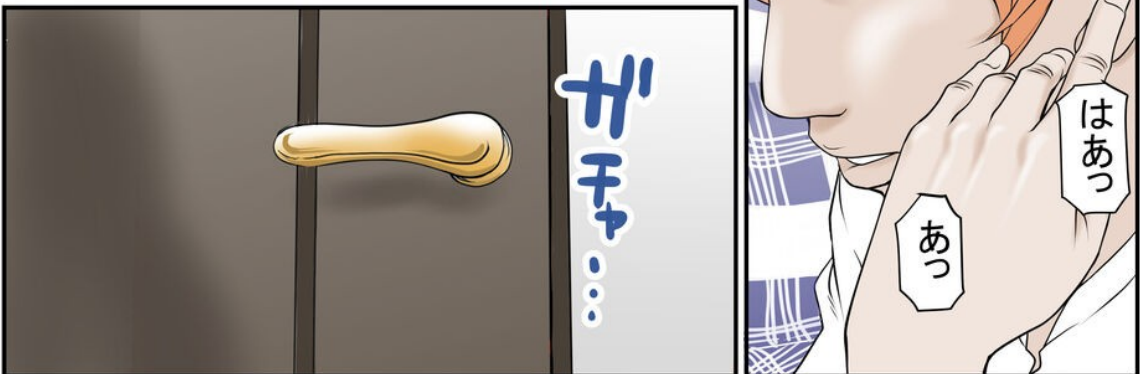
...してる

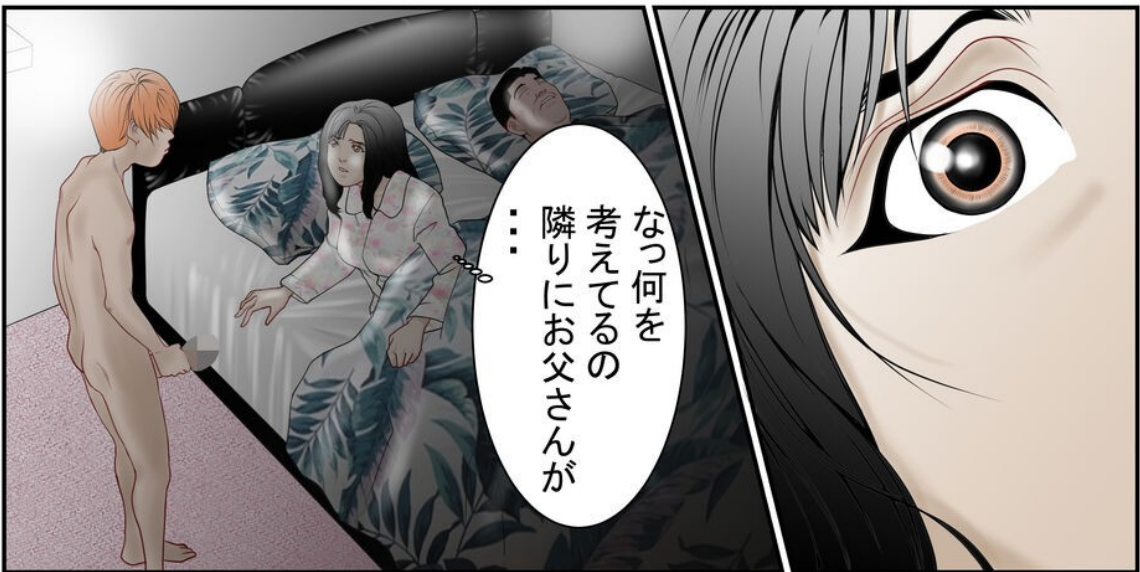


あッ

はあッ

ああッ









ほらっほら
このシチュエーションに
興奮してる
マン汁が変化して
きた

違う…:…そっ
そんなの…:



乳首まで
こんな
反応して…:

コ
コ
コ



いいだろ
僕の手ココ

ヌ
ヌ

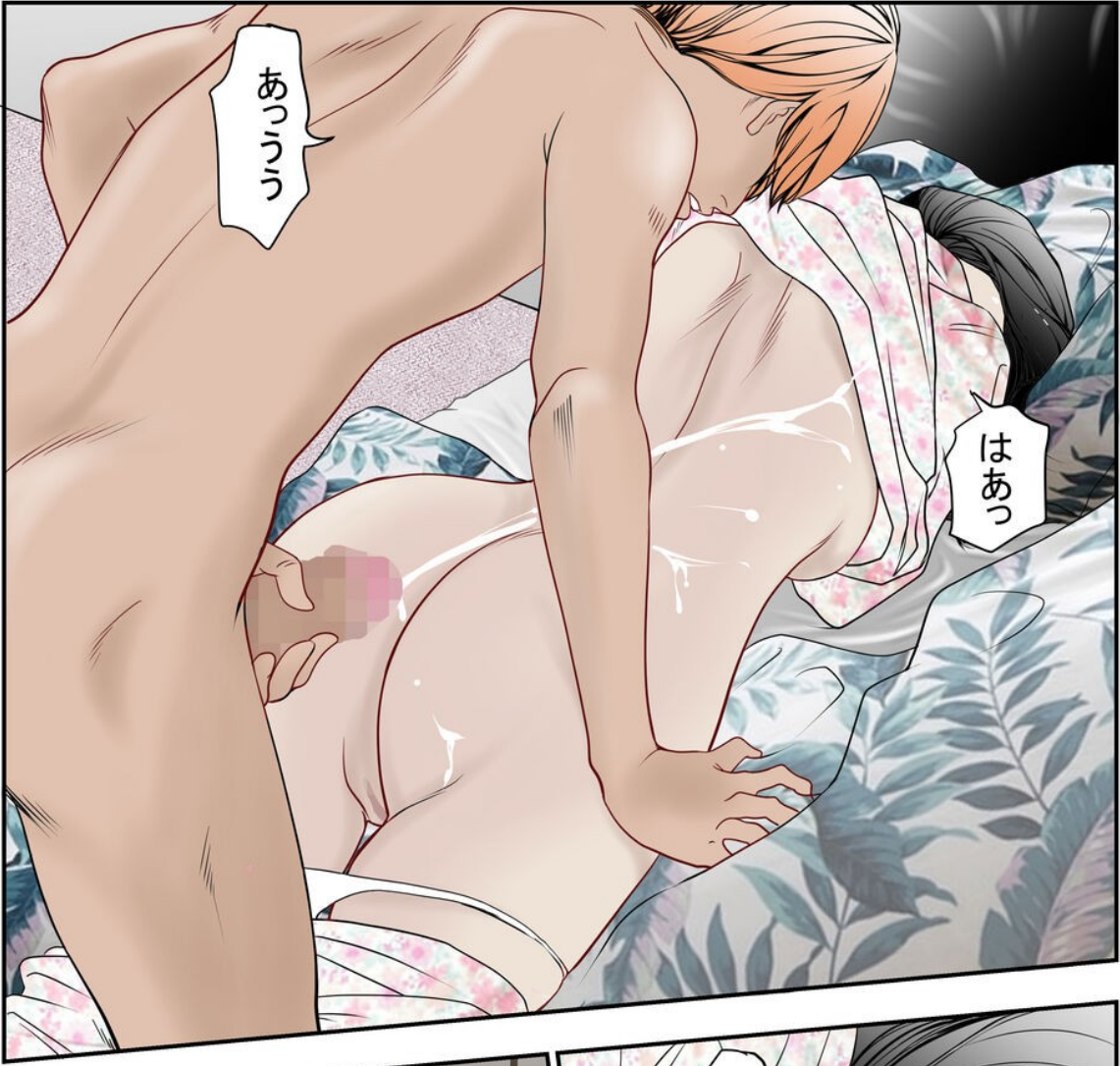
ヌ
ヌ

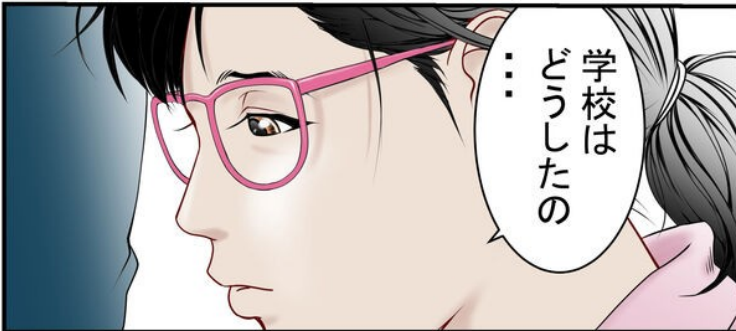
ヌ
ヌ

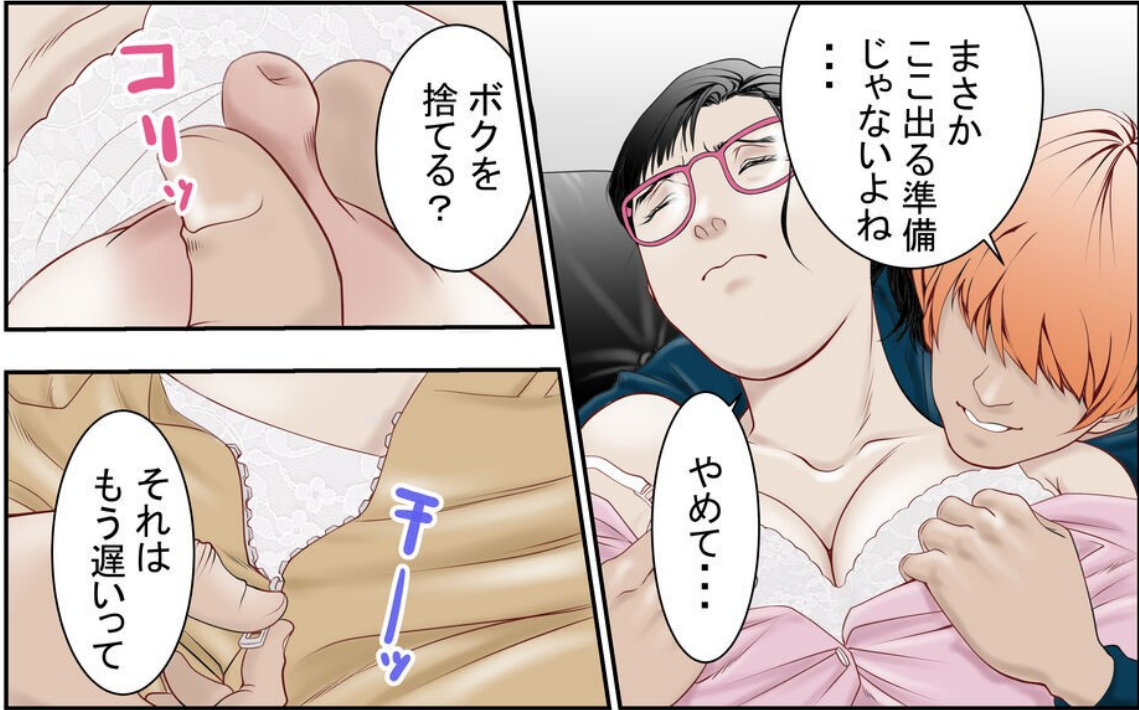
母さんも言ってたんだ
比べ物にならない
くらいすごいって…:



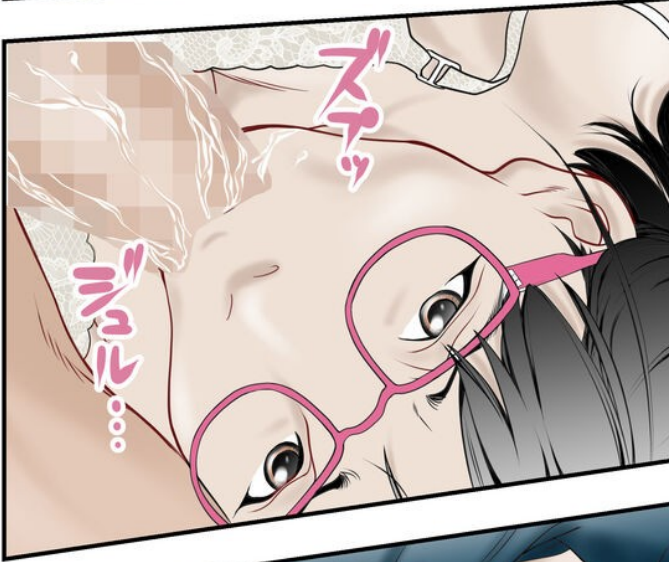
んっ
んっ
んっ…:













認めない
こんな一方的な行為……

絶対に認めないわ



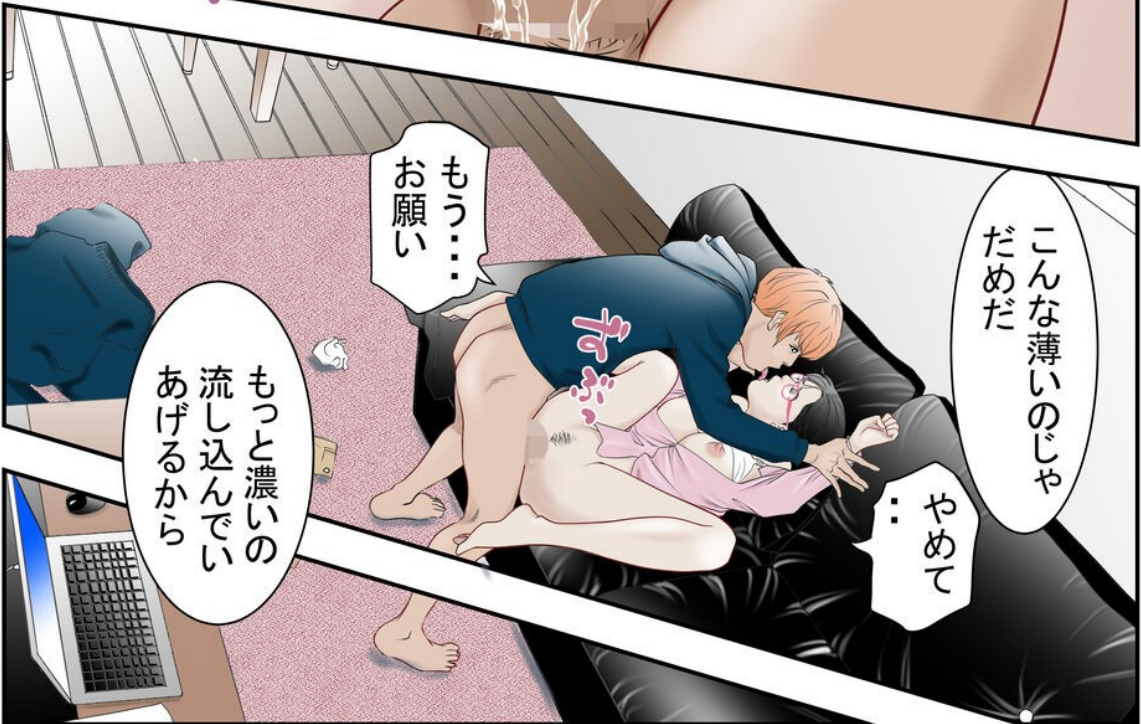
はぁっ

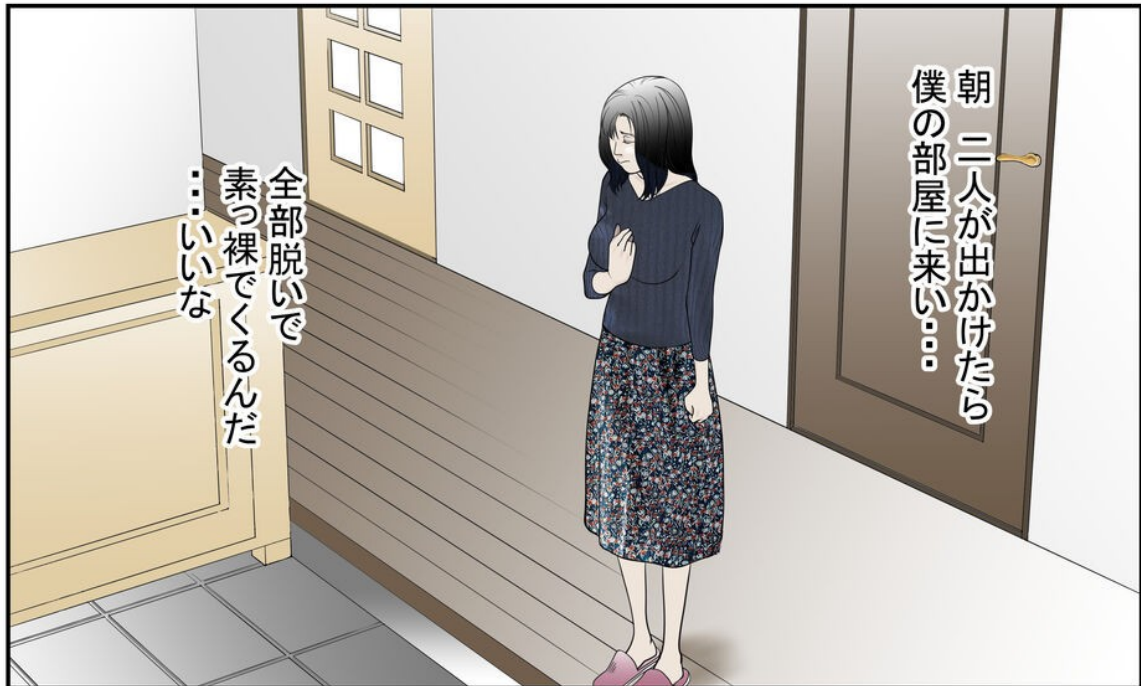
んあっ

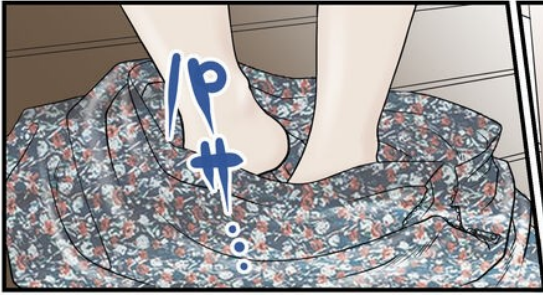
あぁっ

あぁ

あんっ





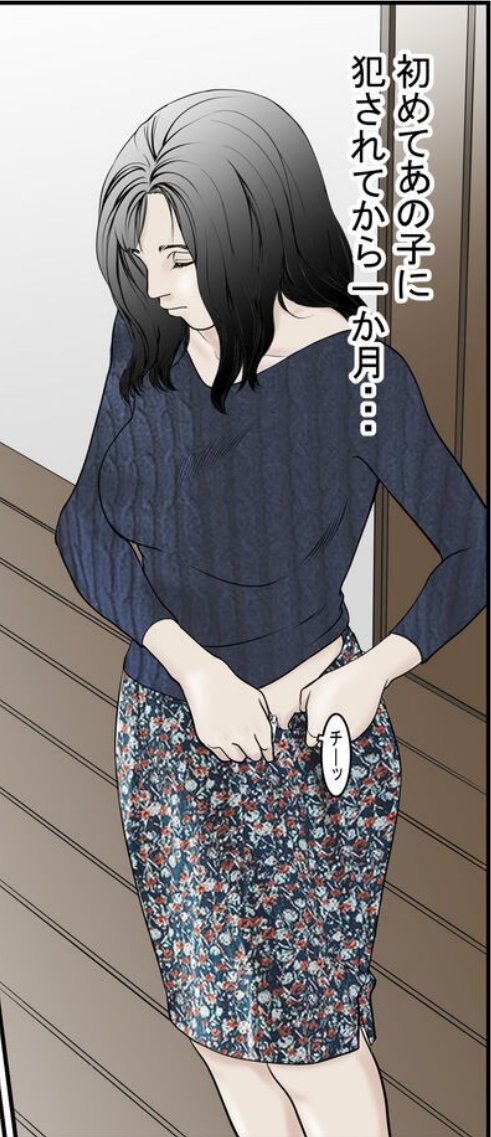


初めてあの子に
犯されてから「1か月……」



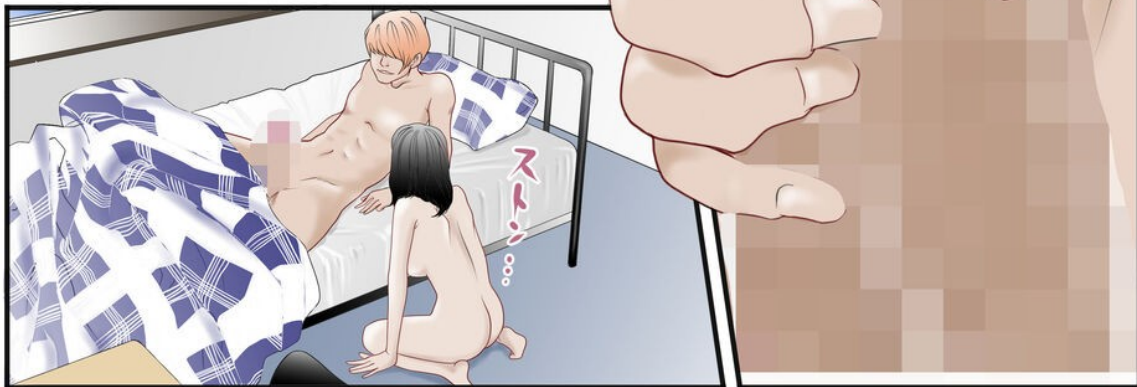
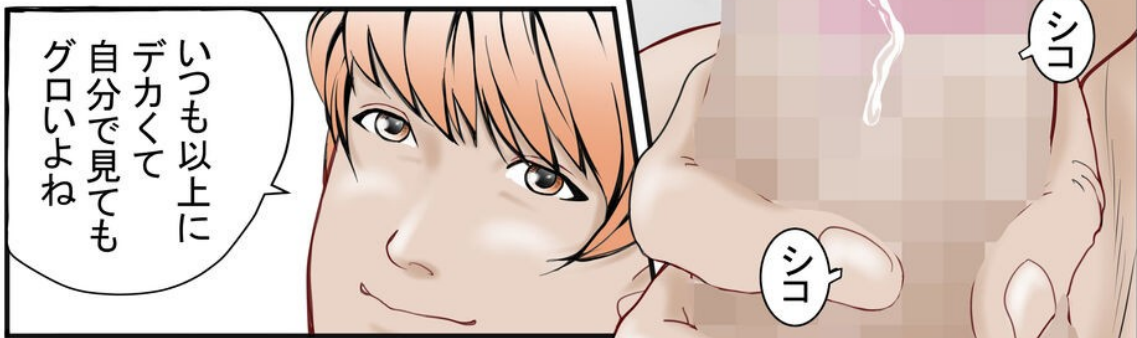
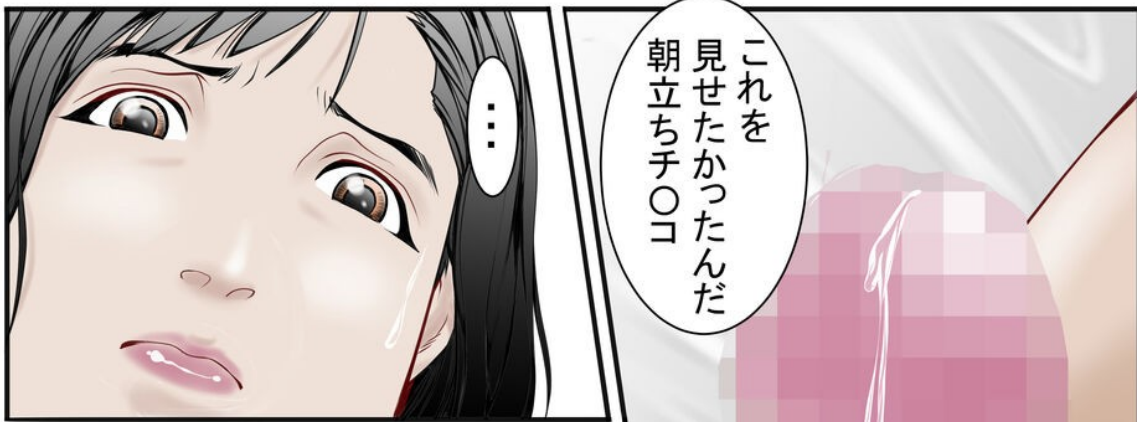
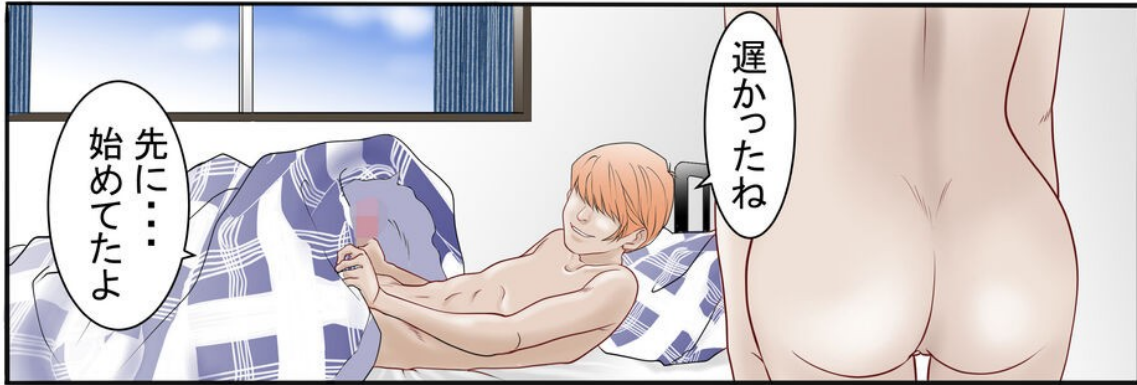
あつてはならない
関係……

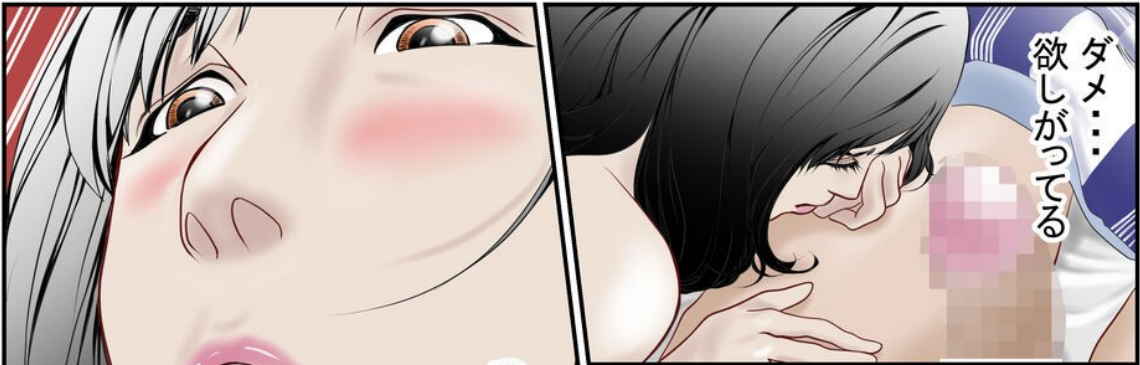
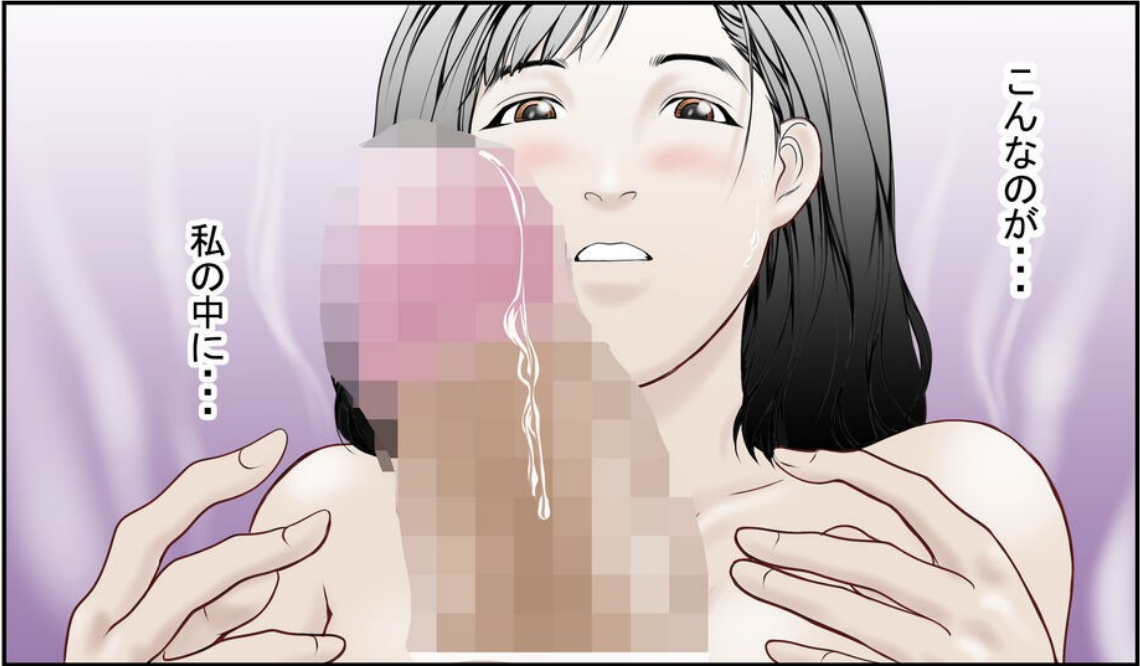
もう……数え切れないほどの
行為を強要された



気持ちとは裏腹に
身体はなにかを
期待している……

部屋に入っちゃいけない
もう……自分を抑える
自信がない







こんな大きさ
これまでに啜えさせられた
事はなかった……

口いっぱい熱が
上がっていく……
肉棒に這うように
脈打つ血管まで
はつきりと感じとれる



違和感しかなかった
行為が……



こんな子からは
想像もつかない
……



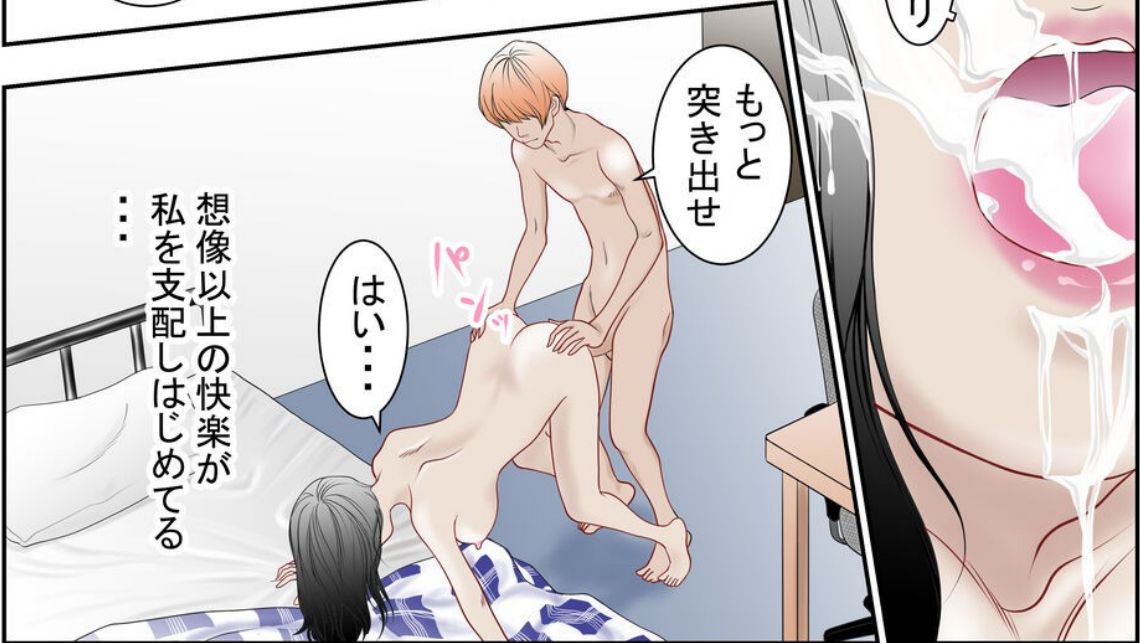
はんっ

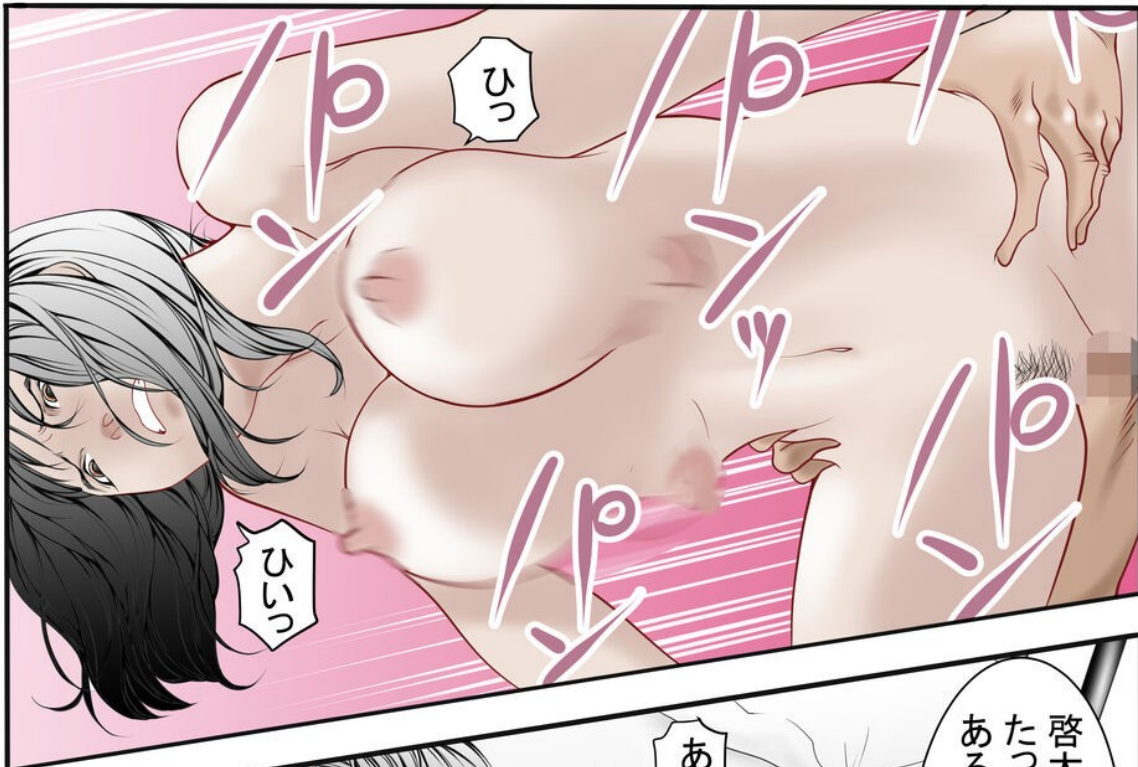
いまは……今は……

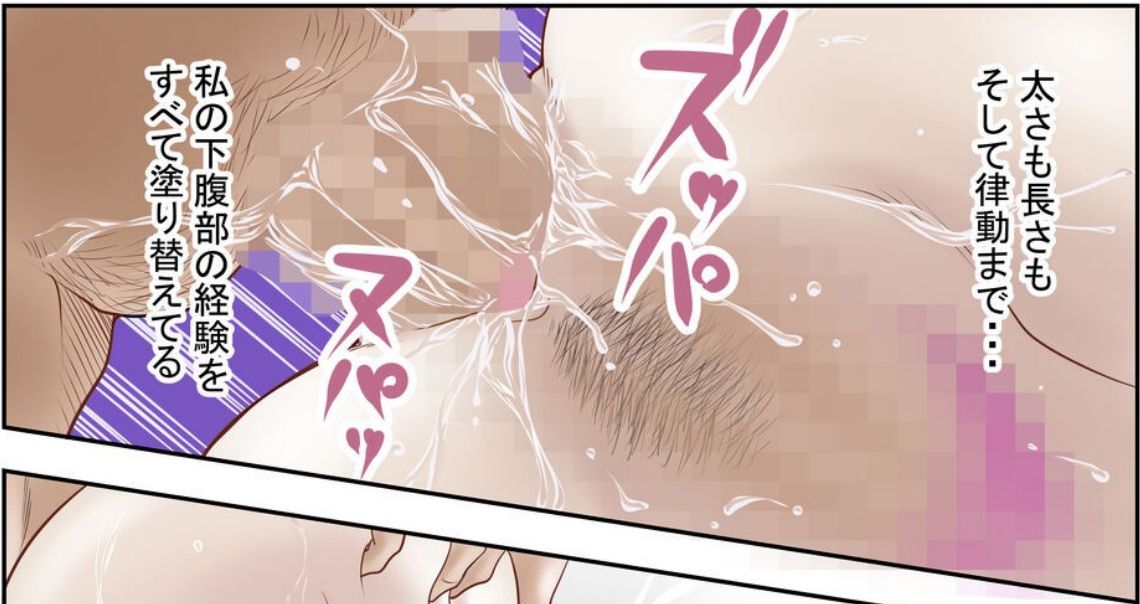
ズッ
ズッ
ズッ……

んんっ

んっ







太さも長さも
そして律動まで...

ズッパ

ヌッパ

私の下腹部の経験を
すべて塗り替えてる



あッ

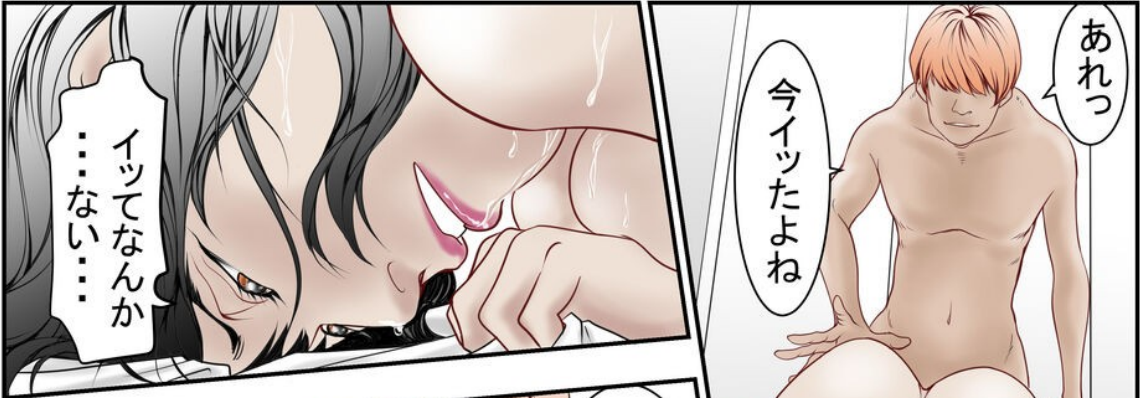
ビクン

こんなの
我慢出来るわけ
ないじゃないッ

ビクッ

ビクン

ああッ





きたっ
今までとどいたことのない
奥の奥に……

んっく



なんでッ

ああア

何で
こんな子が

あ



こああッ

女の喜ばせ方
知ってるのよオ



まるで
もう一度処女を
奪われてるみたい……



びくん

びくう

びくんッ



そうだ
やっぱり感じてるね
美和子ッ

もっとだもっと
イカせてあげるから

そうっ
気持ちいいのオオッ



出すよ
美和子いっっ

あぁア
はあッ

あんっ

こあめこ

出してE
お願いーっ

秀人くんが流し込んだ
大量のザーメンで……

ドププ……

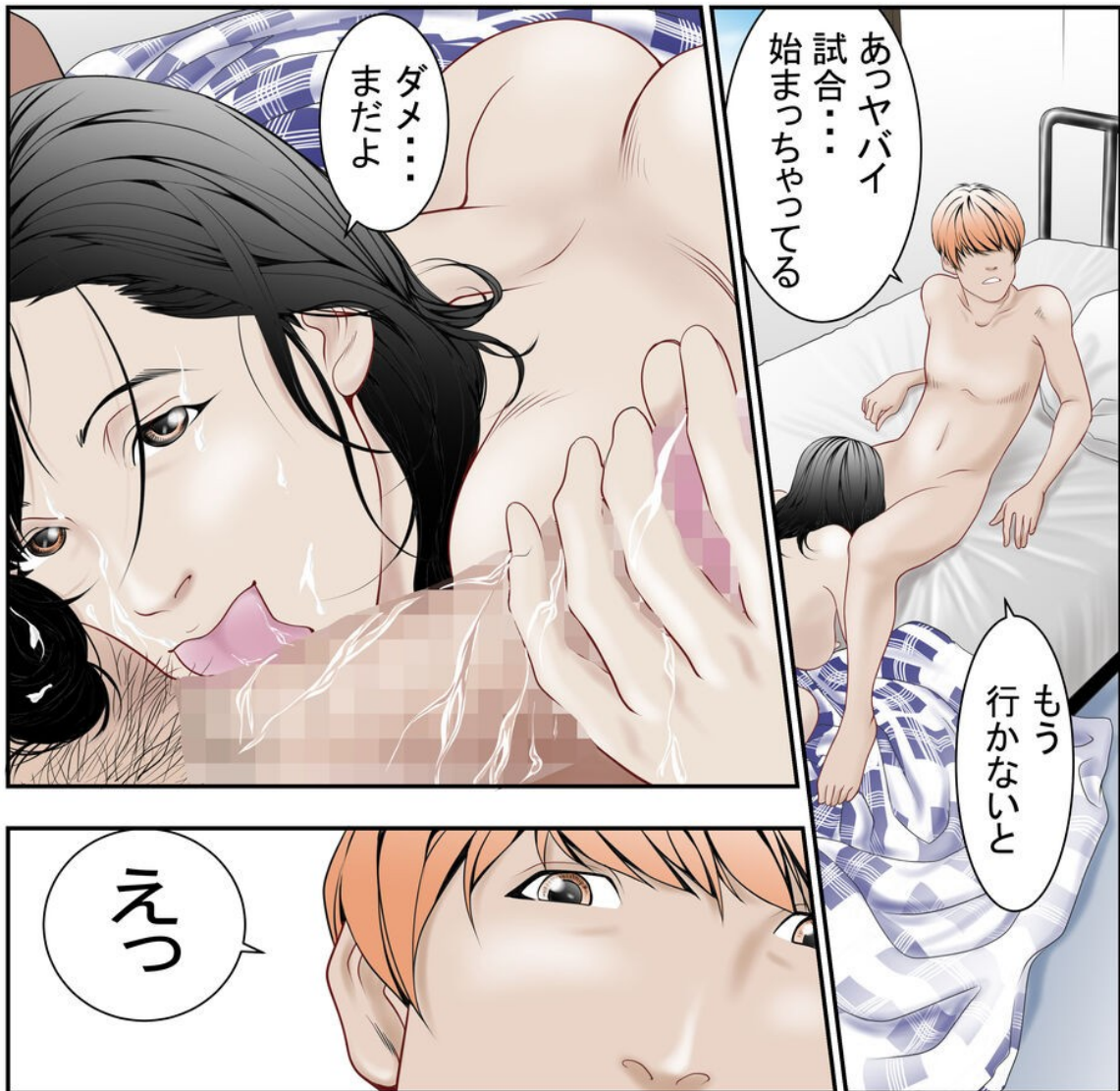
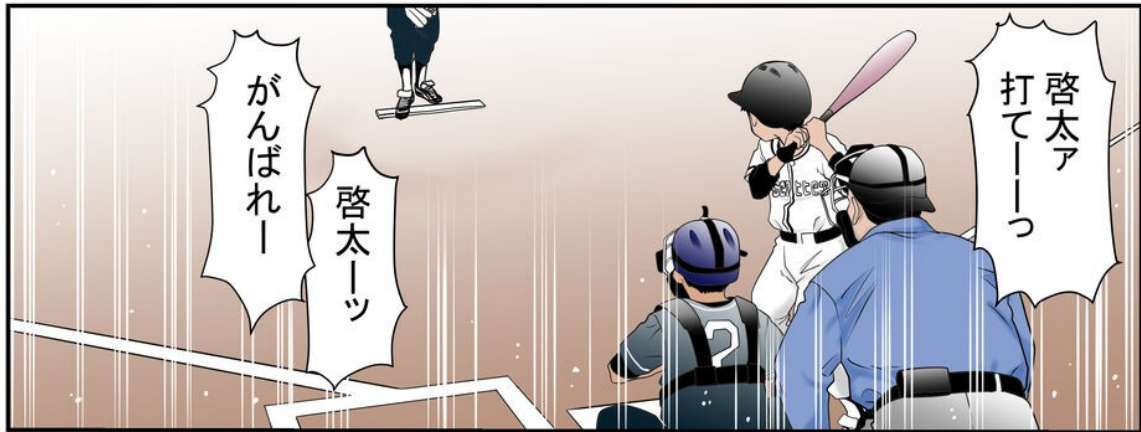
ドクンッ

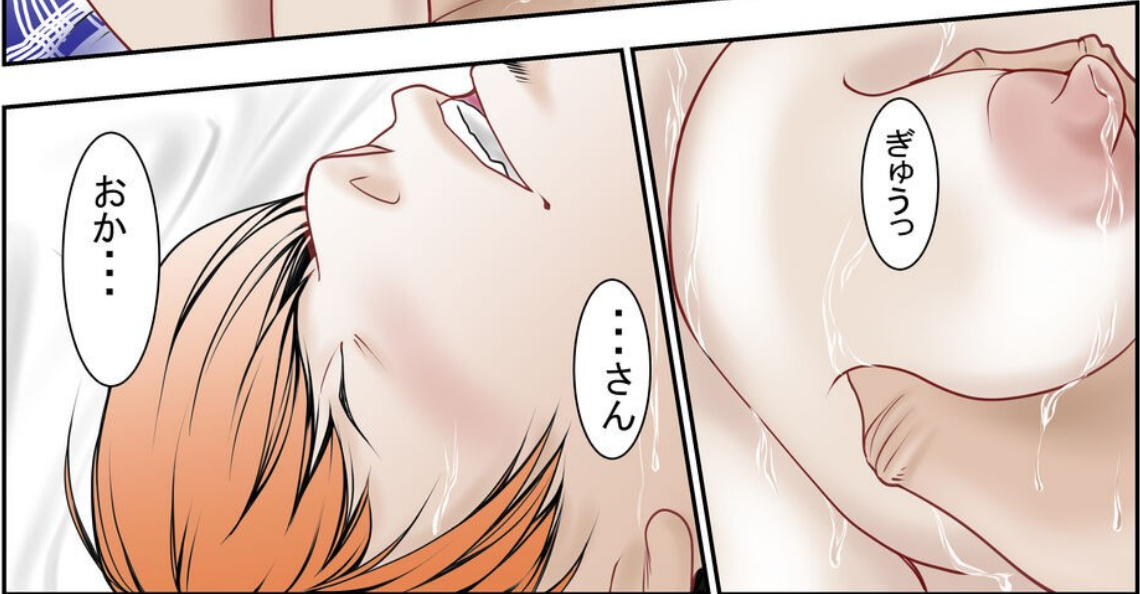
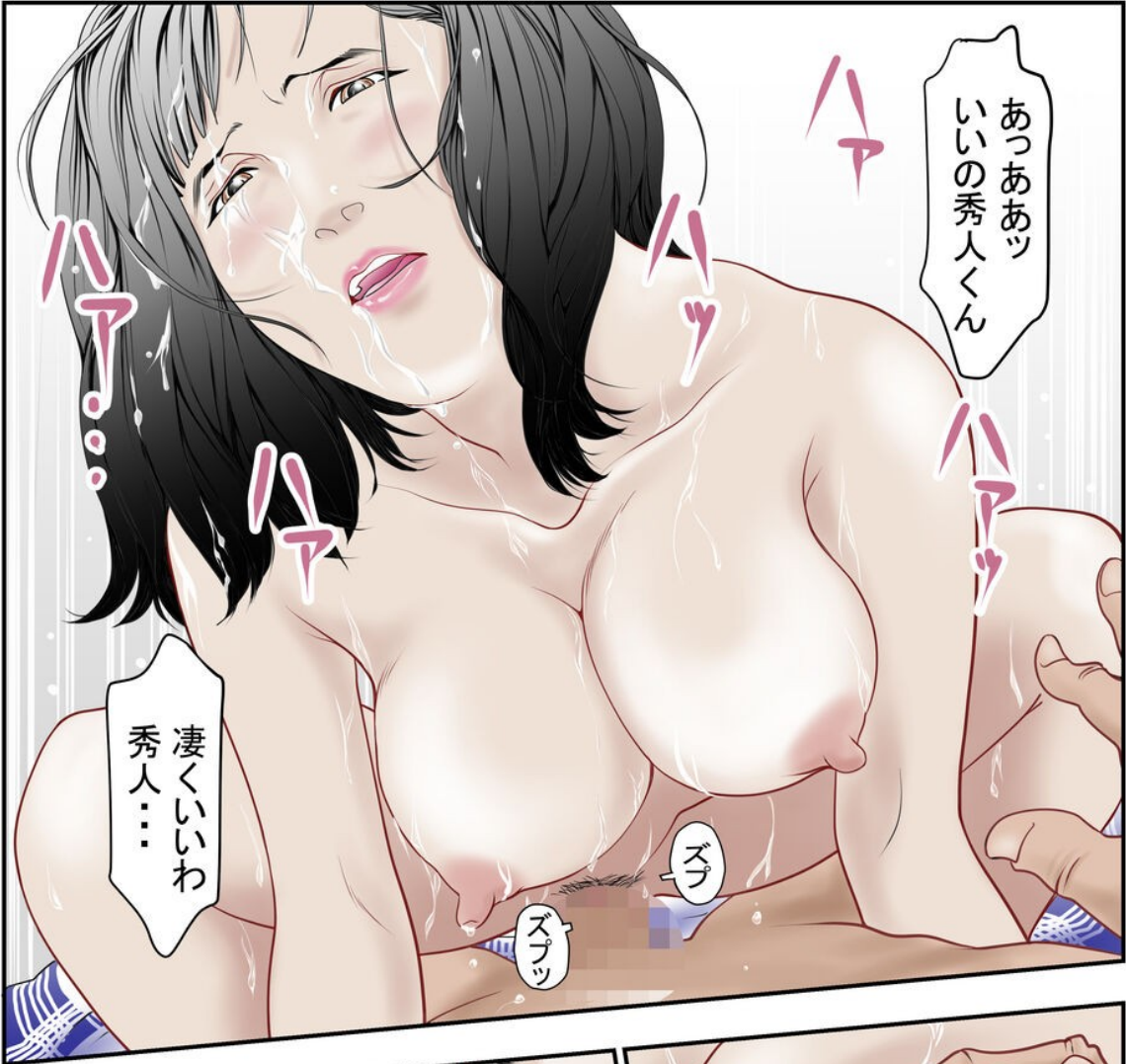
私の中の何かが
満たされていくのがわかる

ア

ア

ア







お母さん...



完